

平成 28 年度（第 64 期）事業報告

平成 28 年度も公益財団法人京都健康管理研究会（以下、本財団）の理念である「公益性を重んじ、難治性疾患への取組、その他疾病予防の推進」を掲げ、公益事業を展開し、全職員が一丸となり目的達成のため努力を傾注した。

平成 28 年秋、英国が EU 離脱を決め、そして、平成 29 年初頭、米国大統領にトランプ氏が就任したことにより、世界中が俄かに鳴動し始めた。特に、東アジア情勢は、隣国大統領の弾劾や他国での重要人物の暗殺など、想定外の非常事態が起り、さらに、北朝鮮の核・ミサイル開発により、「戦争」という言葉が我が国にとっても現実味を持って語られるようになり、北朝鮮・アメリカ・中国などの間の緊張状態の中で、激しい駆け引きが行われている。ただでさえ近隣国との間では領土問題や歴史観の問題で不協和音がある中、国交もままならないほど不安定となっており、近年で最も危険な状況にある。

また、我が国にも、安全保障や防衛費・テロ対策等、さらにトランプ大統領誕生で頓挫した TPP に代わる FTA 交渉などの経済問題など、国内外の難題が山積している。

このように、我が国を取り巻く環境は、経済的にも政治的にも先の見通しが難しい局面にある。国家予算で社会保障費が増大し、膨大な借金を抱えた日本の先行き不安は解消されそうにもない。

日本の医療費総額が 43 兆円にも達しようとしている中、政府も医療費を含む社会保障費の圧縮に奔走している。そのような中、超高額薬価のがん新薬の適応拡大が認められ、これにより想定外に医療費が増大（年間 1 兆 7,500 億円と算出）するとの予想もあり、我が国が誇る健康保険制度を打ち砕くに十分な衝撃を与えた。これに対応するため政府は、異例の薬価引下げ等を行い、医療費全体を圧縮しようとしているが、今後引きずる問題でもある。本財団のような中小規模の医療機関は、経済的、社会的な情勢変化が診療および健康診断業務に対し、直接あるいは間接に影響することは明らかである。これらの影響について総合的に慎重に判断し、対応していくことは必要不可欠である。

このような中、政府は、診療費の配分で在宅医療に重点を置き、地域包括ケアシステムの構築、医療・介護機能の再編を進めたが、医療現場の現実との乖離や矛盾が多々あり、中小の病院の廃業も目立ち始め、医療界は大きな岐路に立たされている。国としては薬価引下げ、医療費配分の見直し等を行い、医療費全体を圧縮しようとしたにもかかわらず、高齢化による福祉予算は拡大の一途をたどっている。本財団のような小規模医療機関の診療および健康診断業務は、かかる社会情勢変化の影響を受けることを免れず、本財団の業績の圧迫要因となっている。

このような状況のもと、本財団は、平成 28 年度事業計画に従い、「福祉」と「医療」を一体のものと考え、「福祉医療」の実践機関として、患者や受診者を中心に事業を継続して行い、公益的存在であることを貫いてきた。

本年度も、定款に定めるとおり公益・収益の両分野の事業として年間を通し、全職員が一体となり、事業・業務を実施、充実を図ってきた。

以下に平成 28 年度に実施した事業を報告する。

I. 診療部（中央診療所）

診療部は、地域住民の健康管理を目的とした一般外来診療を行うとともに、病気の予防、病気の早期発見を目的に行っている健康管理部の健康診断において、要精査あるいは要治療と判定された受診者を対象に外来診療を継続してきた。加えて、当診療部は無床ではあるが、幅広い疾患、中でも難病を診療対象として、病院の機能に該当する諸検査を行い、診断・治療を充実させている。即ち、対象疾患としては、喘息、肺炎、間質性肺疾患（サルコイドーシス、間質性肺炎、過敏性肺臓炎、膠原病肺）、睡眠時無呼吸症候群、循環器、肝臓病、膠原病・リウマチ、神経内科、消化器、アレルギーなど各専門医が診療を担当する専門外来の充実を図ってきている。厚生労働省の特定疾患患者や在宅酸素療法患者の数が多いたのが特徴である。さらに、禁煙指導外来、栄養指導外来を設置し、薬物療法に加えて、栄養や禁煙という健康維持の基本を広い意味での治療として位置づけてきた。患者の高齢化に伴い、介護保険の有効利用により日常生活を支援するため、積極的に主治医意見書を作成している。更に、在宅医療医との連携も行っている。診断や経過評価の充実を図り、ここ数年はX線撮影装置のデジタル化及び CT 撮影装置並びにエコー診断装置等を順次更新し、より精度・技術の向上に努めている。

1. 外来患者数

平成 28 年度患者数（健康保険・自費）は 17,543 人（前年度 18,327 人、前年度比 95.7%）であった。

2. 社会福祉診療の状況

- (1) 低所得者、要保護者等の生計困難者に診療費の減免を行った。平成 28 年度の取扱件数は 1,783 件（前年度 1,845 件、前年度比 96.6%）であった。
- (2) 無料健康相談の取扱件数は 160 件（前年度 139 件、前年度比 115.1%）であった。

II. 健康管理部（中央診療所）

健康管理部は、病気の予防、病気の早期発見を目的に、健康診断、健康指導を主とする事業を行った。加えて、契約企業の産業医としての産業医活動を行うとともに、講演会活動ならびに研修会へ職員を派遣し、健康管理に対する理解と知識の向上にも努めた。

1. 健康診断

平成 28 年度健康診断（出張および来所）の総数は 95,424 名（前年度 85,443 名、前年度比 111.7%）であった。

2. 健康指導

(1) 産業医活動

中央診療所は各種事業所と産業医としての契約を結び、担当医師が定期的に出向き、職場の安全衛生管理、衛生教育、労働者の健康障害に対する対応等を行うとともに、事業主・衛生管理者に対しての指導・助言を行い、個人の健康相談にも応じた。産業医契約事業所数は41であった。

(2) 講演活動

- ・ 泉 孝英：石綿による健康障害．建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会
(第1回) 2016.5.11 京都
- ・ 泉 孝英：石綿による健康障害．建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会
(第2回) 2016.11.8. 京都
- ・ 泉 孝英：石綿による健康障害．建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会
(第3回) 2017.3.8. 京都

Ⅲ. 臨床研究センター

臨床研究センターは、診療所の健康診断受診者、患者を対象として、その得られた疫学成績や臨床成績の検討を行うとともに、成果を健康管理、診療の場にフィードバックすることを目的とした研究事業を行った。現在、主たる研究対象は喘息、COPD、サルコイドーシス、間質性肺炎、肺高血圧、膠原病等の各種疾患であるが、生活習慣病対策（脂肪肝・肥満）を含めての広範な研究を展開した。また、本研究センターの事業の一環として、本臨床研究センターに所属する研究員（1名）の海外留学について支援した。

1. 患者・一般市民に対する啓蒙活動、医師の勉強会

(1) 第11回治療に関する患者・医療関係者交流会 ―在宅酸素療法，薬物，栄養，リハビリテーション―（平成28年4月12日、ハートピア京都）

講演：①「腹部エコー検査：脂肪肝」

②「栄養指導外来から：肥満、脂肪肝、高脂血症」

特別講演：

① 症例をつうじて病気を理解しよう

「サルコイドーシス症例からみた治療と経過」

「間質性肺炎症例の治療と経過」

「膠原病症例の治療と経過」

参加：患者・付添者52名、本財団スタッフ47名、計99名

(2) 第12回健康塾（平成28年10月1日、ハートピア京都）

講演：①「糖尿病の薬と低血糖」

②「糖尿病にならないために～そのコツ教えます～」

参加：健診先事業所・一般52名、本財団スタッフ44名、計96名

(3) 第12回サルコイドーシス，膠原病：患者・医療関係者交流会

(平成28年10月16日、ハートピア京都)

講演：①「サルコイドーシス・病気の特徴と原因」

②「慢性呼吸不全の栄養指導」

特別講演：「呼吸器疾患のイメージング：画像でどこを見る？何が分かる？」

参加：患者・付添者67名、本財団スタッフ41名、計108名

(4) 第13回健康塾（平成29年3月11日、京都文化博物館大ホール）

講演：①「認知症にならないために 第2回」

②「五感を使った食の体験～食育ことはじめ～」

③「健康寿命を延ばすために～ロコモティブ症候群を予防する筋トレのすすめ～」

参加：健診先事業所・一般73名、本財団スタッフ43名、計116名

2. 研究業績

本財団職員が定款の目的を達するために、平成28年度に行なった研究の業績及びそれに係る刊行物は別紙1に示す。

IV. 報告事項（その他）

1. 理事会及び評議員会の開催状況

平成28年度に開催した理事会及び評議員会審議事項及びその決議に従い行政庁等への届出事項は以下の通りである。

(1) 平成28年5月12日：理事会

〈理事会審議事項〉

第1号議案：平成27年度（第63期）事業報告の件（理事会：承認）

第2号議案：平成27年度（第63期）決算報告（貸借対照表及び損益計算書）の件
（理事会：承認）

(2) 平成28年5月28日：定時評議員会

〈評議員会審議事項〉

第1号議案：平成27年度（第63期）事業報告並びに貸借対照表及び損益計算書について承認を求める件（評議員会：承認）

第2号議案：任期満了に伴う評議員の選任

（評議員会：定款に則り評議員5名重任、1名新任を選任）

(3) 平成28年5月28日：理事会

〈理事会審議事項〉

第1号議案：新たに顧問（2名）の就任を求める件の件（理事会：顧問2名の就任承認）

(4) 平成28年6月22日：上記評議員会で選任された評議員6名を登記（京都地方法務局）

(5) 平成28年6月27日：平成27年度（63期）事業報告書及び同決算書、評議員変更届を、行政庁（本財団の場合は京都府）へ提出

- (6) 平成 28 年 9 月 15 日（決議があったと見なされた日）：理事会
〈理事会審議事項〉
第 1 号議案：長期借入金 4,000 万円の承認を求める件（書面持ち回り理事会：承認）
- (7) 平成 28 年 11 月 10 日：理事会
〈理事会審議事項〉
第 1 号議案：平成 28 年度（第 64 期）事業の進捗状況及び上期決算報告（理事会：承認）
- (8) 平成 29 年 2 月 2 日：平成 28 年度公益法人立入検査（京都府）
- (9) 平成 29 年 3 月 9 日：理事会
〈理事会審議事項〉
第 1 号議案：平成 29 年度（第 65 期）事業計画案の件（理事会：承認）
第 2 号議案：平成 29 年度（第 65 期）予算案の件（理事会：承認）
第 3 号議案：定例評議員会開催日程（平成 29 年 5 月 30 日）の件（理事会：承認）
第 4 号議案：(1) 委託契約に関する件
(2) 特定費用準備金取扱規則」策定の件（理事会：いずれも承認）
- (10) 平成 29 年 3 月 28 日：平成 29 年度事業計画及び同予算書を行政庁（京都府）へ提出

2. 施設認定の取得状況

公益社団法人全国労働衛生団体連合会の労働衛生サービス機能評価認定（認定期間 3 年間）のための訪問調査を平成 29 年 2 月 23 日に受けた。（合格）

3. 職員の研修状況

- (1) 外部研修・講習：全衛連等の行う精度管理事業研修・講習に職員を参加させ、技術水準及び精度管理の向上に努めた。（別紙 2）
- (2) 内部研修・講習：医療保険サービスの研鑽として、本財団主催による専門委員会活動や、技術水準向上を目指した所内研修・講習を行った。（別紙 3）

2. その他本財団の目的達成に必要と認める一切の事業

- (1) 医科器械については、老朽化した器材について順次更新を進めた。本年度は一般 X 線撮影用装置及び集団検診に供する学童検診用心音心電計（12 誘導）を更新した。
- (2) 健診要員や必要な資器材の搬送、あるいは営業その他の諸連絡用車両についても老朽化が進み、2 台の車両を廃棄、新たに新車（軽自動車）1 台を購入し、検診業務ピーク時にはカーシェアを活用する体制を整えた。
- (3) 本年度も、編集委員会を定期的に開催し事業年報を刊行した。
- (4) 中央診療所施設については、5 階会議室を含む 5 階南側の空調設備を更新した。また、4 階健康診断フロアのトイレを改修、床張り替えなどを行うと共に、各フロア天井照明の器具更新にあたっては、LED 化を進め、地道な改善に務めた。また、医療用廃棄物倉庫について、より厳密に保管・管理するための改修を実施した。
- (5) 老朽化した検診車の更新計画を立て、補助金を公益財団法人 JKA に申請し、本年度末に補助金交付決定通知を受け取った。購入計画に従い、平成 29 年度中の検診車購入・配備を確実に達成すべく全所プロジェクトとして推進することとした。

以 上

【別紙1】

平成28年度研究業績一覧

(1) 学会発表等

- ・ 祖開暁彦、半田知宏、小賀徹、谷澤公伸、池添浩平、中塚賀也、久保武、平井豊博、長井苑子、陳和夫、三嶋理晃：特発性肺線維症に特異的な健康状態質問票(SGRQ-I)の有用性の検討 第56回日本呼吸器学会学術講演会 2016.4.8. 京都
- ・ 祖開暁彦、谷澤公伸、半田知宏、池添浩平、中塚賀也、久保武、小賀徹、平井豊博、長井苑子、陳和夫、三嶋理晃：特発性肺線維症におけるKL-6の変化の臨床的意義 第56回日本呼吸器学会学術講演会 2016.4.8. 京都
- ・ 池添浩平、半田知宏、谷澤公伸、祖開暁彦、中塚賀也、久保武、平井豊博、田口善夫、長井苑子、陳和夫、三嶋理晃：特発性肺線維症患者における慢性腎臓病と予後の関連 第56回日本呼吸器学会学術講演会 2016.4.8. 京都
- ・ Tanizawa K, Handa T, Nagai S, Oga T, Kubo T, Ito Y, Aihara K, Ikezoe K, Sokai A, Nakatsuka Y, Hirai T, Chin K, Mishima M and Izumi T: Can the Sarcoidosis Health Questionnaire predict the short- and long-term outcomes of patients with chronic sarcoidosis? 2016 American Thoracic Society International Conference. 2016.5.17. San Francisco, USA,
- ・ Nagai S: Macitentan for the treatment of pulmonary arterial hypertension associated with interstitial lung diseases. 3rd Acterion Academic Forum on Pulmonary Hypertension. 2016.7.3. 京都
- ・ Nagai S: Symposium on the etiology of sarcoidosis. Etiological agents in patients with sarcoidosis. 第36回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会. 2016.10.7. 東京
- ・ 長井苑子：(特別講演) 呼吸器科医が診る肺動脈性肺高血圧 第3回湖北肺高血圧研究会. XIV(エクシブ) 2016.11.24 大津
- ・ 池添浩平、半田知宏、谷澤公伸、久保武、徳田深作、中塚賀也、山本裕子、陳豊史、青山晃博、本山秀樹、土屋恭子、長井苑子、平井豊博、伊達洋至、陳和夫：脳死肺移植登録を行なった間質性肺疾患患者の臨床像と予後の検討 第9回呼吸機能イメージング研究会学術集会 2017.1.27. 京都
- ・ 泉孝英: ドイツに医学・アメリカの医学・日本の医学—連合軍占領期[昭20(1945)年9~27(1952)年4月におけるアメリカ医学の日本への伝達—。平成28年度岡山医学史研究会. 2017.3.1. 岡山

(2) 原著

- ・ Sokai A, Handa T, Chen F, Tanizawa K, Aoyama A, Kubo T, Ikezoe K, Nakatsuka Y, Oguma T, Hirai T, Nagai S, Chin K, Date H, Mishima M. Serial perfusion in native lungs in patients with idiopathic pulmonary fibrosis and other interstitial lung diseases after single lung transplantation. Clin Transplant. 30:407-14. 2016
- ・ Handa T, Watanabe K, Tanizawa K, Oga T, Aihara K, Ikezoe K, Sokai A, Nakatsuka Y, Hirai T, Nagai S, Chin K, Horiuchi H, Mishima M. Platelet aggregability in patients with interstitial pneumonias. Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis. 33:143-50. 2016

- Sokai A, Handa T, Chen F, Tanizawa K, Aoyama A, Kubo T, Ikezoe K, Nakatsuka Y, Oguma T, Hirai T, Nagai S, Chin K, Date H, Mishima M. Serial perfusion in native lungs in patients with idiopathic pulmonary fibrosis and other interstitial lung diseases after single lung transplantation. Clin Transplant. 30:407-14. 2016
- Tanizawa K, Handa T, Nagai S, Niimi A, Oguma T, Kubo T, Ito Y, Aihara K, Ikezoe K, Matsumoto H, Hirai T, Chin K, Mishima M. Comprehensive evaluation of airway involvement in pulmonary sarcoidosis. ERJ Open Res. 3(1) : 00105. 2017
- (3) 編著
 - 泉 孝英編：外来診療ガイドライン 2017. 日経メディカル開発. 東京. 2017
- (4) 分担執筆
 - 泉 孝英：第1章症候編 3.呼吸困難, 第3章疾患編 6.肺結核, 7.非結核性抗酸菌症, 8.気管支拡張症, 11.間質性肺炎(特発性, 膠原病性), 12.肺癌. 日本臨床内科医会 内科診療実践マニュアル. 日本医学出版(改訂第2版). 2016
 - 泉 孝英：III がん診療の現状 22 がんの診断・治療をめぐる課題. 泉 孝英編： 外来診療ガイドライン 2017. p 618-19, 日経メディカル開発. 東京. 2017
 - 泉 孝英：医療・介護をめぐる課題 3 新専門医制度, 泉 孝英編：外来診療ガイドライン 2017. p626-27, 日経メディカル開発. 東京. 2017
- (5) 随筆等
 - 泉 孝英：健康保険制度崩壊の危機. 京都内科医会ニュース. 2016.6.24.
 - 泉 孝英：新専門医制度の崩壊. 京都保険医新聞. 2016.7.5.
 - 泉 孝英：ノーベル生理学・医学賞はあっても、ノーベル医学生理学賞はないはずである。日本医事新報 (4873):54-55,2017.1.7
 - 長井苑子・泉 孝英： 文学に見る病と老い 92 谷川俊太郎「ひとり暮らし」Pharma Medica 34(4):126-129 , 2016
 - 長井苑子・泉 孝英： 文学に見る病と老い 93 鈴木則子「江戸の流行り病 麻疹騒動はなぜ起こったのか」 Pharma Medica 34 (6):116-123 , 2016
 - 長井苑子・泉 孝英： 文学に見る病と老い 94 大井通正 「患者と家族に寄り添う在宅医療日記」 Pharma Medica 34 (8): 86-89, 2016
 - 長井苑子・泉 孝英： 文学に見る病と老い 95 石川達三「四十八歳の抵抗」 Pharma Medica 34 (10): 104-111, 2016
 - 長井苑子・泉 孝英： 文学に見る病と老い 96 篠田桃紅 「百三歳になってわかったこと」 Pharma Medica 34(12): 152-158, 2016
 - 長井苑子・泉 孝英： 文学に見る病と老い 97 「碧素・日本ペニシリン物語」 Pharma Medica 35 (2): 94-100, 2017
- (6) その他
 - 1) 司会 (学会・研究会等)
 - 長井苑子：第7回 IPF フォーラム (総合座長) 2016. 11. 18 京都
 - 長井苑子：OFEV 発売一周年記念講演会 in 京滋 特別講演座長、総合討論座長 2016. 11. 18 京都

2) 講演

- 泉 孝英：病院・医師の選び方. 京都市総合教育センター研修会. 2016.12.15

3) 講義

- 泉 孝英：世界一健康国・日本—どうして日本は世界一の健康国になったか. 京都シニア大学（一般教養）. 2016.7.5
- 泉 孝英：町医者 of 経済学（1）日本の社会保障. 京都シニア大学（一般教養）. 2016. 9.27
- 泉 孝英：町医者 of 経済学（2）日本の年金・世界の年金. 京都シニア大学（一般教養）. 2016.11.15
- 泉 孝英：町医者 of 経済学（3）日本の医療・世界の医療. 京都シニア大学（一般教養）. 2016.12.13
- 泉 孝英：町医者 of 経済学（4）元気で長生きの健康生活を目指して—昭和・平成の歴史に学ぶ日本の医療・世界の医療. 京都シニア大学（一般教養）. 2017.1.17
- 泉 孝英：トランプ政権下の暮らしと健康. 四条烏丸アカデミークラブ. 2017.3.2.

【別紙2】

平成28年度 職員の研修状況

実施年月日	主催	会合名	出席	会場
H28.4.30 ～5.1	一般社団法人日本臨床衛生 検査技師会	検体採取等に関する厚生労働省 指定講習会	1名	大阪府立男女共 同参画・青少年 センター
H28.5.16	京都市国民健康保険(京都 市保健福祉局生活福祉部)	平成28年度第1回特定保健指導 実務者研修会	1名	ウイングス京都
H28.6.16	京都労働局	企業内人権啓発推進員研修会	1名	ロームシアター京 都
H28.6.27	京都府公安委員会	安全運転管理者講習	1名	龍大響都ホール
H28.7.6	明治安田生命保険相互会社	第35回異業種交流会関西倶楽部	1名	ホテルニューオ ータニ大阪
H28.7.9 ～10	一般社団法人日本臨床衛生 検査技師会	検体採取等に関する厚生労働省 指定講習会	1名	関西大学100周 年記念会館
H28.7.15	全衛連近畿地方協議会	平成28年度第1回全衛連近畿地 方協議会	2名	ANAクラウンプラ ザホテル神戸
H28.7.27	京都商工会議所	平成28年度京商ビジネススクー ル新人社員研修 3カ月フォロー アップコース	2名	京都商工会議所
H28.8.19	公益財団法人JKA	平成29年度公益事業振興補助事 業(要望)説明会	2名	毎日ビルディン グ大阪本社ビル
H28.8.24	公益社団法人全国労働衛生 団体連合会	選別聴力検査研修会	2名	大阪リバーサイド ホテル
H28.8.28	一般社団法人日本消化器が ん検診学会	第45回日本消化器がん検診学会 近畿地方会	1名	神戸国際会議場
H28.8.31	公益社団法人全国労働衛生 団体連合会	施設認定実務責任者研修会	1名	三田NNビル(東 京)
H28.9.12	公益社団法人全国労働衛生 団体連合会	VDT・眼科領域健康診断研修会	1名	大阪リバーサイド ホテル
H28.10.28	京都人権啓発行政連絡協議 会	平成28年度人権研修会	1名	京都市呉竹文化 センター
H28.11.11 ～30	一般社団法人京都府医師会	平成28年度初心者医療事務講習 会(8回開催)	2名	京都府医師会館
H28.11.16	公益社団法人全国労働衛生 団体連合会	平成28年度全衛連運営協議会	1名	ホテルJALシティ 三田(東京)
H29.1.26	京都市国民健康保険(京都 市保健福祉局生活福祉部)	平成28年度第2回特定保健指導 実務者研修会	1名	キャンパスプラザ 京都
H29.2.11	富士フイルムメディカル株式 会社	FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2017 in 京都 「進化し続けるFPD撮影」	1名	TKPガーデンシ ティ京都

H29.2.14	明治安田生命保険相互会社	第36回異業種交流会関西倶楽部	1名	シェラトン都ホテル大阪
H29.2.17 ~18	公益社団法人全国労働衛生 団体連合会	胸部エックス線検査研修会	1名	三田NNビル(東京)
H29.2.24	全衛連近畿地方協議会	平成28年度第2回全衛連近畿地 方協議会	2名	ホテルクラウンパ レス神戸
H29.2.26 ~27	一般社団法人日本消化器が ん検診学会	第39回近畿支部放射線研修会	3名	千里サイエンス センタービル
H29.3.12	NPO法人日本消化器がん検 診精度管理評価機構近畿支 部	胃がん検診従事者講習会	2名	千里サイエンス センタービル

【別紙 3】

平成 28 年度 内部研修・講習会

実施年月日	内容／講師	出席者	会場
H28.9.20	月例研修会:京都の言葉	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H28.10.18	月例研修会:宇宙を満たしているものは何だろうか? エーテルとダークマター	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H28.11.15	月例研修会:コンピュータ・ソフトウェアについて —その歴史とよりよい理解のために—	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H28.12.20	月例研修会:ノルウェー見聞記 世界一住みやすい国? 講師:染井順一郎(本財団栄養指導外来)	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H29.1.17	月例研修会:公益財団法人京都健康管理研究会中央診療 所で仕事をするということ	所内スタッフ	中央診療所 5F研修会場
H29.2.8	当所の健診コンピュータシステムに関する開発元による講 習会	所内スタッフ システム開発元技術者	中央診療所 5F研修会場
H29.2.21	月例研修会:防災についての意識をもとう	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H29.3.22	平成29年度健康診断に関する心臓検診説明会	所内スタッフ 検査技師派遣元担当者	中央診療所 5F研修会場